

～ 干支で占う2015年の日本株式の動向 ～

【図表1: 日経平均株価の干支年毎の年間騰落率】

干支	年間騰落率(%)	年間騰落率(%)	年間騰落率(%)	年間騰落率(%)	平均(%)
子	1972年 91.9	1984年 16.7	1996年 -2.6	2008年 -42.1	16.0
丑	1973年 -17.3	1985年 13.3	1997年 -21.2	2009年 19.0	-1.5
寅	1974年 -10.9	1986年 43.9	1998年 -9.3	2010年 -3.0	5.2
卯	1975年 13.2	1987年 14.6	1999年 36.8	2011年 -17.3	11.8
辰	1976年 14.9	1988年 39.9	2000年 -27.2	2012年 22.9	12.6
巳	1977年 -2.5	1989年 29.0	2001年 -23.5	2013年 56.7	14.9
午	1978年 23.4	1990年 -38.7	2002年 -18.6	2014年 7.2	-6.7
未	1979年 9.5	1991年 -3.6	2003年 24.5	2015年	10.1
申	1980年 7.5	1992年 -26.4	2004年 7.6		-3.7
酉	1981年 8.8	1993年 2.9	2005年 40.2		17.3
戌	1982年 4.4	1994年 13.2	2006年 6.9		8.2
亥	1983年 23.4	1995年 0.7	2007年 -11.1		4.3

※2014年は、年初来11月末までの騰落率

2015年は未(ひつじ)年、未年は辛抱・・・

【図表2: 日経平均株価の干支年毎の年間騰落率(平均)】

今回は、相場格言※についてです。

※相場格言は、相場の経験則から言い伝えられたものであり、将来を予見するものではありません。

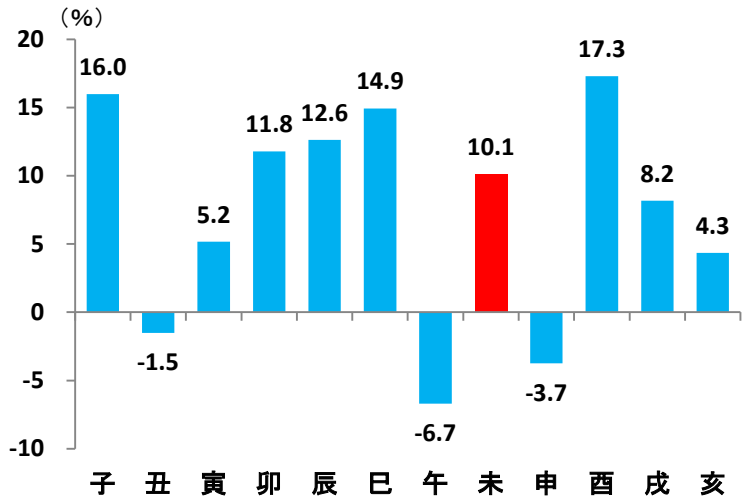
「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌は笑い、亥固まる、子は繁栄、丑はつまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる」という相場格言があります。

干支は十二干支なので、“12年サイクル(周期)”といえなくもないのですが、時期によって年間騰落率に違いがあるため、アノマリー(相場の経験則)の1つとして見てみたいと思います。

1972年以降の“未年”の日経平均株価の年間騰落率(平均)は+10.1%となっています。十二干支でよく見られるのは、「辰巳天井」で高値(天井)をつけ、午年である程度調整し、未年で再び上昇トレンドに入るというパターンです。もしこのパターンを踏襲しているとすれば、2012・13年で高値をつけ、今年(2014年)はある程度調整し(今年前半は調整した)、来年(2015年)からは再び上昇トレンドを継続するかもしれません。

また、「未年は辛抱」とありますので、少々下がっても戻る“往来相場”になるとも考えられます。あくまで、「相場格言」なので、“当たるも八卦”程度の参考にしておきたいと思います。

(期間: 1972年～2014年(11月まで)、干支年毎平均)



※赤で表示した年は、未(ひつじ)年

(出所: 図表1, 2は、ブルームバーグのデータよりニッセイアセットマネジメントが作成)

今年一年間、金融市場NOWをご覧いただき誠にありがとうございました。
来年も引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。